

受章報告

小溝裕一名誉教授が紫綬褒章を受章されました

小溝裕一名誉教授は、溶接接合学の分野において、これまで現場の経験則や過去のデータから推測し、論理や数値などで必ずしも明確に説明できない暗黙知によって制御してきた現象に対し、溶接部のマイクロ組織形成挙動を固相変態のみならず、液相－固相変態過程まで遡って、一貫して理解するために、溶接中“その場観察”技術を開発し、ならびに、その結果を用いた組織予測シミュレーションの開発に注力されてこられました。特に、溶接凝固過程の速度論的情報を得る解析手法として、第3世代の放射光施設である SPring-8 のアンジュレタビームラインを用いた溶接 in-situ 観察システムを世界に先駆けて開発、さらに、高温レーザ顕微鏡と組み合わせることにより直感的な材料変化挙動の観察など、これまで直接目で見ることの出来なかった溶接中の組織変化の可視化に成功し、新しい溶接材料学の発展に大きく貢献されました。また、材料のナノ構造を制御することにより、長寿命化対応材料や造船、橋梁、パイプライン、自動車などを対象とした超軽量高強度材料およびその接合技術を提案され、環境に優しい社会の実現に寄与されてこられました。さらに、接合科学研究所 信頼性評価・予測システム学分野長として、構造物の安心・安全を確保するための信頼性評価ならびにその予測システムの開発に尽力し、長年にわたって学生の教育と我が国溶接界の高度化、もの造り産業の発展に貢献されました。

これらの功績により、平成 29 年度秋の紫綬褒章を受章されました。

略歴

昭和 47 年 4 月 住友金属工業株式会社入社

昭和 57 年 工学博士（大阪大学）

平成 16 年 3 月 住友金属工業株式会社退職

平成 16 年 3 月 大阪大学接合科学研究所教授
平成 21 年 4 月 文部科学大臣表彰科学技術賞
（研究部門）
平成 27 年 3 月 大阪大学定年退職
平成 27 年 4 月 大阪大学名誉教授、
高輝度光科学研究センター
特別研究員
平成 29 年 4 月 大阪大学グローバルイニシア
ティブ・センター
東アジア拠点長

